

令和 7 年度 第 2 回 海南市総合教育会議

会 議 録

令和7年度 第2回海南市総合教育会議

日 時 令和7年9月18日(木)
場 所 海南市役所 3階 会議室3B

出席者	海南市長	神 出 政 巳
	教育長	西 原 孝 幸
	教育委員	中 山 佳 子
	教育委員	岩 本 智 佳
	教育委員	熊 代 秀 至
欠席者	教育長職務代理人	露 峯 明 信

事務局職員出席者

教育次長	井 内 健 児
教育委員会総務課長	楠 間 嘉 紀
学校教育課長	谷 所 正 崇
教育委員会総務課総括班長	山野井 真 也
総務課教育総務班主任	良 田 翔 吾
総務課教育総務班主事	土 江 明 菜

次 第

- 1 市長挨拶
- 2 協議事項
 - (1) 南野上小学校、北野上小学校、中野上小学校統合実施計画(案)
について
- 3 その他

(午後 3 時 00 分 開会)

楠間教育委員 定刻となりましたので、ただ今より令和 7 年度第 2 回海南市総合教育
会総務課長 会議を開催させていただきます。

本日は、皆様方におかれましては、大変ご多用の中、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

尚、本日は露峯職務代理者が急な体調不良のため欠席ということで、ご承知をお願いします。

それでは、開会にあたり、神出市長からご挨拶をいただきたいと思いをします。

神出市長 皆様、今日は。

本日は、教育委員の皆様方にはご多用の中、総合教育会議にご出席を頂き、誠にありがとうございます。

平素、本市教育の充実・発展の為、ご尽力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、海南市では、遊びながら防災を知る・学ぶことができる市民防災公園「海南ハレアメ」のグランドオープンによる、更なるにぎわいの創出に向け、全力で取り組んでいくところでございます。

又、教育環境の整備に関しましても、(仮称)下津中学校の開校に向け、校舎新築工事がいよいよ開始される処であります。

そのような中、近年の人口減少や少子化で、本市においても児童生徒数は、減少の一途を辿っており、小・中学校の小規模化がますます進行しています。

学校教育では、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、切磋琢磨し、一人一人の資質や能力を伸ばしていく事が重要であることから、三野上地域の小学校の統合について、総合教育会議でご意見を頂いて参りました。

前回の会議での協議を受けまして、三野上地域の新しい小学校の名称を「海南市立東海南小学校」とすることが、市議会 6 月定例会において議決されました。

又、北野上小学校の統合については、交流学习の実施や、保護者等関係者へのアンケートや意見聴取会を通じて、統合時期の調整に取り組んでおります。

本日は、保護者や地域関係者から頂いたご意見を集約し、北野上小学校の統合時期を記載した「南野上小学校、北野上小学校、中野上小学校統合実施計画(案)」について教育委員の皆様方のご意見をお聞かせ頂

きます。

皆様方には、忌憚のないご意見をお願い申し上げ、結びに、皆様方の益々のご健勝・ご多幸を祈念申し上げ、開会のご挨拶と致します。

本日はご出席ありがとうございます。

楠間教育委員会
総務課長

ありがとうございました。それでは、この後の議事の進行については、規定により神出市長にお願いしたいと存じますのでよろしくお願い致します。

神出市長

それでは、早速、議事を進めさせていただきます。

次第の日程「2 協議事項」の「(1) 南野上小学校、北野上小学校、中野上小学校統合実施計画(案)」について」です。

冒頭に挨拶でも申し上げましたが、今回、教育委員会によって、北野上小学校の統合時期を明記した統合実施計画(案)が作成されたことから、総合教育会議で協議させていただきたいと考えております。

では、統合実施計画(案)について、事務局より説明をお願いします。

楠間教育委員会
総務課長

「南野上小学校、北野上小学校、中野上小学校統合実施計画(案)」について」説明させていただきます。

1ページをご覧ください。

こちらは、北野上小学校の統合時期に係る調整の経緯となっております。

令和4年9月に「南野上小学校、北野上小学校、中野上小学校統合実施計画(素案)」を作成し、同年10月から翌年の令和5年2月にかけて、実施計画(素案)の説明会・意見聴取会を地域関係者、未就学児を含む保護者、学校関係者等を対象に実施しまして、北野上小学校の保護者と地域関係者から統合に反対する意見をいただきました。

意見聴取会でいただいたご意見を集約し、令和6年3月には、先行して令和8年4月に南野上小学校と中野上小学校を統合し、北野上小学校は、交流学習等を行うとともに、引き続き保護者等関係者と統合についての調整を実施することとした統合実施計画を策定しました。

令和6年5月16日には、北野上小学校体育館にて市政懇談会が行われ、統合への調整を保護者等関係者と進めていくことを説明したところ、統合に反対の意見はありませんでした。

同年5月23日には、統合実施計画の説明会を地域関係者・未就学児を含む保護者に対して説明したところ、統合に反対の意見はなく、早い統合を望む意見がありました。

同年8月9日から11月8日までは北野上小学校区の未就学児を含む保護者に対して、統合時期に関するアンケート調査を実施し、統合時期への考えを問う設問では、「なるべくはやい統合を望む」と「将来的な統合は望むが、当面は現状のままを望む」の意見が二極化しているものの、統合することについては一定の理解を得ているという結果となりました。

令和7年2月24日にはアンケート調査の結果を踏まえ、未就学児を含む保護者を対象に意見聴取会を開催し、令和9年4月を目標に調整していくことを説明したところ、統合に反対の意見はなく、前向きな意見をいただきました。

同年6月には、北野上小学校の統合時期を令和9年4月とした南野上小学校、北野上小学校、中野上小学校統合実施計画（案）を作成しました。

同年7月24日には統合実施計画（案）を基に、未就学児を含む保護者に対して意見聴取会を実施したところ、令和9年4月の統合に反対の意見はありませんでした。

同年7月31日には、北野上地区の自治会長を対象に意見聴取会を実施したところ、統合に反対する意見もありましたが、保護者の意見を尊重してほしいという意見が多い結果となりました。

同年9月15日には、北野上地区の地域住民全体を対象に説明会を実施したところ、1名から統合に反対の意見がありましたが、保護者の意見を尊重することや、子供の教育を考え、統合した方が良いのではないかという意見があり、統合に対して一定の理解を得ました。

3ページをご覧ください。

こちらは新しい統合実施計画（案）となっております。

学校規模の適正化に関する基本的な考え方として、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて社会性や規範意識を身につけていくためには、一定の規模の集団が確保されていることが必要となっており、「海南市学校規模適正化基本方針」で示した、適正な学校規模を確保し、保護者や地域の方々の理解と協力を得ながら適正配置を進めていくこととしています。

4ページをご覧ください。

こちらは各小学校における児童数・学級数の推移となっており、表の2段目が北野上小学校の表となっております。

表を見ていただきますと、表の下※にありますように、令和7年度

は複式学級が本来は生じますが、臨時的に定数内の教員から担任を捻出することで、複式学級を解消しております。

また、令和8年度の入学者は3名となる予定で、令和8年度から複式学級が2学級生じる見通しとなっており、2学級となりますと令和7年度のように複式学級を解消することができなくなります。

また、令和11年度には複式学級が3学級生じる見込みとなっております。

10ページをご覧ください。

統合に向けた現状の課題・対応・結果・取組方法についてです。

まず課題については、

- ・統合に向けた交流学习の機会創出。
- ・スクールバス等を導入した場合、中野上小学校周辺走行時における徒歩児童の安全性の確保。
- ・北野上地区における地域住民から地域の衰退に繋がるという意見から、反対がある。
- ・北野上小学校の未就学児を含む保護者に対してアンケートや意見聴取会を実施したところ、統合について前向きな意見が見られたが、統合時期についての考え方は、「なるべく早い統合を望む」と「将来的な統合は望むが、当面は現状のままを望む」の意見が二極化している。
- ・中野上小学校の校舎の整備。

が挙げられます。

次に対応・結果については、

- ・令和7年度より3校による交流学习を充実することで、学習環境の変化による影響を軽減するとともに、統合への機運の醸成を図る。
- ・中野上小学校プール北側を送迎車やスクールバスの発着場所として整備し、送迎車等と徒歩児童の導線を分離し、安全性の確保を図る。
- ・北野上地区の地域住民全体に向けた説明会を実施したところ、反対意見もあったが、統合について一定の理解を得た。
- ・北野上小学校の未就学児を含む保護者に対して意見聴取会を実施したところ、統合に反対する意見はなく、前向きな意見や質問があった。
- ・整備方針については、長寿命化事業にて検討し、令和7年度は、体育館の長寿命化工事を実施する。

としております。

このことから、下段の統合の取組方法としては、①先行して令和8年4月に南野上小学校と中野上小学校を統合し、東海南小学校として開校

します。

次に②については、北野上小学校の未就学児を含む保護者へのアンケート結果や、令和6年度、令和7年度の2回の保護者への意見聴取会でも令和9年4月の統合に反対する意見がなかったこと、令和7年度より本格的に実施している交流学习を経て、保護者からは統合時期について一定のご理解をいただいている状況であること、また、地域代表者への意見聴取会や地域住民全体への説明会では、保護者の意見を尊重してほしいという意見や、一定のご理解を得ていることから、②北野上小学校は、令和9年4月に東海南小学校に統合するということで取組を進めていきたいと考えております。

11ページをご覧ください。

統合までのスケジュールとなっており、令和7年度は3校の関係者から成る統合推進検討会にて統合の準備を進め、令和8年4月には南野上小学校と中野上小学校を統合して新小学校である東海南小学校を開校し、北野上小学校については、令和9年4月には東海南小学校に北野上小学校を統合し、統合するまでは交流学习を実施し、学習環境の変化に伴う児童の不安軽減や児童間の交流に努めたいと考えています。

事務局の説明は以上です。

神出市長

事務局の説明が終わりました。それでは、南野上小学校、北野上小学校、中野上小学校統合実施計画（案）につきまして、どの部分からでも結構ですので、ご意見・ご提言等をお願いできればと思います。

まず、中山委員、いかがでしょうか。

中山教育委員

学校統合推進検討会について、触れさせていただきます。令和6年度より、南野上小学校、北野上小学校、中野上小学校統合推進検討会を設置し、統合への諸課題の検討がはじまっています。今後も丁寧な説明や意見交換を大切に、保護者や地域の方々から理解を得られるよう、継続して進めたいと思います。

また、北野上地域においても、小学校と地域の結びつきが強いことから、統合に関して、保護者だけでなく地域でも気にかけている方は多いと思います。統合推進検討会では、そういった方々の意見を集約し、議論を進めるとともに、「統合推進検討会だより」などによる検討状況の丁寧な周知を行うことで、スムーズな統合ができると考えます。

神出市長

ありがとうございました。

それでは、続きまして、岩本委員お願いします。

岩本教育委員

学童保育とスクールバス、スクールタクシーの運行について、意見を述べさせていただきます。統合に伴い、学童保育の実施場所は、中野上小学校になるということで、希望する児童をできるだけ受け入れられるよう、実施場所を確保するとともに、児童が不安を感じないように、同じ先生を配置するように努めるなど、運営体制への配慮が必要だと考えます。

また、スクールバス、スクールタクシーの運行について、現在、加茂川小学校や大東小学校などが、統合に伴い廃校となった学校の校区に在住する児童に対して、人数規模に応じて、それぞれスクールバス、スクールタクシーを運行しています。統合に伴い、通学距離が長くなる北野上小学校の児童に対しては、スクールバスの運行を検討し、登下校の安全性の確保に努めることが必要だと考えます。

神出市長

ありがとうございました。

それでは、続きまして、熊代委員お願いします。

熊代教育委員

統合に向けた、交流学习を中心に述べさせていただきます。

子供達が身に付ける学力は大きく二つあり、一つは確かな学力を身に付けること、集団生活を通じて社会性や規範意識を身に付けることでもあります。保護者はこの二つに加えて、安全・安心な学校生活を送れることを願っております。学校が統合される際には、この三つを確保する必要があると考えます。まず、先行する南野上小学校との統合で予想されること、また実際に現れる課題に、適切に対応しつつ、その経験を活かして、北野上小学校との統合を進めることが大事であると考えます。ただ一方で、児童や保護者、加えて教職員への不安軽減のため、今後も継続して交流学习を推進していくことは、大きな効果があることだと思います。

特別な配慮を必要とする児童については、環境の変化に敏感な児童も少なからずいることから、児童一人一人の特性に応じた、一層の配慮が不可欠だと思います。また、保護者の不安軽減のために、交流学习の参観も可能とするなど丁寧な周知を行っていただければと考えます。

加えて、統合後についても、環境の変化による児童への影響に対応するため、生活・学習の両面で、十分な支援体制を整えられるよう、教育委員会として努めていただきたいと思います。

神出市長

ありがとうございました。

それでは、最後に西原教育長、よろしくお願いします。

西原教育長

海南市の学校適正配置の経緯も含めて述べさせていただきます。

平成 17 年に旧海南市と旧下津町が合併しましたが、その前後から、学校適正配置が審議会で検討されてきました。

旧下津町では、幼稚園の統合を進めていただいております、それを契機に、小学校の統合を進め、現在は加茂川小学校と大東小学校と下津小学校となっています。下津地域の中学校については、下津第一中学校と下津第二中学校それぞれの地域の歴史などがあり、統合への理解を得ることが難しかった経緯があります。しかし、現在は、統合の理解も得られ、新しい校舎の建築が始まっています。さらに、本市が合併した時に、海南市高等学校と下津女子高等学校を統合し、海南下津高等学校の運営をしていましたが、県立高等学校の定員割れが起こっている状況や応募人数が満たない状況が続く中で、募集を停止し、令和 5 年度末に閉校しました。

旧海南市では、第一中学校と第二中学校を統合し、現在は、海南中学校として運営をしています。さらに、保育所や幼稚園を統合し、新しく子ども園、2 園を開園しています。現在は、南野上小学校、北野上小学校、中野上小学校といった東部の小学校が小規模化し、教育環境の整備のため統合を進めています。この地域には旧海南市立野上中学校があり、現在の東海南中学校として移転した経緯もあります。

学校の適正配置については、令和 4 年には、海南市立小中学校適正規模審議会の答申をいただいて、それに基づいて、教育委員会として、海南市学校規模適正化基本方針を作成しました。

南野上小学校では複式学級が続いており、南野上小学校区は地域の方や保護者の方から、統合について理解を得られ、令和 8 年 4 月に統合することになりました。

学校規模適正化基本方針において、小学校では、各学年 1 学級以上が望ましく、また、5 人を下回る学年が生じる場合については、統合を積極的に推進することとしております。北野上小学校については、来年は 1 年生が 3 人の入学予定であり、複式学級が 2 学級生じる見込みであります。このことから、5 人を下回る学年が生じ、各学年 1 学級として存在できなくなります。学校規模適正化基本方針では、将来の見通しも含めて検討を行うため、北野上小学校は積極的に統合を進める要件に当てはまり、地域住民の方や未就学児を含む保護者へ説明を行い、理解を求

めてきました。

地域住民の方からは、当初は反対の声もありました。北野上小学校に限ったことではないですが、卒業した学校がなくなる寂しさ、学校は地域の文化的な拠点になっているので、学校がなくなると寂れるという意見は必ずあります。その中でも、これからの子供の教育を考えると、人数が多い方がいいのではないかと、保護者の方の意見を聞くべきではないかという意見もあり、説明会を重ねる中で、一定の理解を得られたということで、統合を進めていきたいと考えております。

それぞれの地域の風土があるので、育った地域の歴史や文化を子供達知ることができる、公民館等にも協力をいただき、新しい東海南小学校においても、ふるさと教育として、地域を学ぶことが必要であると考えております。

南野上小学校と中野上小学校については、統合推進検討会にて、閉校式や閉校記念誌の準備を進めております。まずは、南野上小学校を中野上小学校と先行して統合し、スクールバス等の細かい点も含め検討しながら、北野上小学校の統合を進めていきたいと考えております。

神出市長

ありがとうございました。

南野上小学校、北野上小学校、中野上小学校統合実施計画（案）について、教育委員会の皆様から、様々なご意見を頂戴しました。

中山委員からは、統合推進検討会にて、丁寧な説明や意見交換をし、統合推進検討会だよりにて周知に努めていただきたいということでした。

岩本委員からは、学童保育やスクールバス、スクールタクシーでの意見で、加茂川小学校等での例をよく参考にして、安全に通学できるように努めていただきたいということでした。

熊代委員からは、確かな学力、社会規範を身に付けて、安心・安全な学校生活を送れるように、保護者の方に対して丁寧な周知に努めていただきたいということでした。

西原教育長からは、適正配置の現在までの経緯を話していただきました。

小学校というのは、地域のコミュニティ、共同体の核であり、歴史も明治初期より続いており、140年から150年の歴史がそれぞれの小学校にあります。その、地域の特性を大切に、今後も歴史的な背景について、十分に考慮していただきたいと思います。平成17年に、旧海南市と旧下津町を合併し、旧下津町では7校あった小学校が、3校になりました。

地域の様変わりというのは、大きくあるかと思います。下津地域では人口減少、過疎の問題が起こっており、平成 17 年の合併前には、旧下津町では幼稚園の統合を、旧下津町役場が進めていただいております、小学校の統合も円滑に進めることができました。

三野上地域では、きらら子ども園で子供達は顔見知りになっていることから、保護者の方の気持ちを大切に、南野上小学校、北野上小学校、中野上小学校の統合を皆様方のご意見を慎重に聞きながら、統合を進めていきたいと思っております。本日の総合教育会議の内容については、来週の政策調整会議でご意見をいただく予定としております。先ほどお伺いした今回の内容で進めていきたいと考えておりますので、一層のご尽力・ご協力をお願い申し上げます。

それでは、続きまして、次第の日程「3 その他」でございますが、教育委員の皆様方から何かご意見等はございませんでしょうか。

全委員

(なし)

神出市長

それでは、これをもちまして、令和 7 年度第 2 回海南市総合教育会議を閉会いたします。

(午後 3 時 25 分閉会)